

審査基準

別表

審査項目（大項目）	審査項目（中項目）	審査項目（小項目）	評価ポイント	点数
I 受注候補者の運営実績（20点）	1 多文化共生分野での業務実績（8点）		多文化共生に関する業務実績があるか。また、その内容は、本事業の実施に効果的に反映できるものか。	8
	2 東九条地域に関連する業務実績（6点）		東九条地域に関連する業務実績があるか。また、その内容は、本事業の実施に効果的に反映できるものか。	6
	3 現在行っている多文化共生分野関連事業についての考え方（3点）		事業の役割及び目的を適切に理解しているか。また、多文化共生社会に資する具体的な目標を立てているか。	3
	4 市内中小企業等（3点）		市内に本拠を置く団体であるか。	3
II 事業計画（65点）	1 事業方針及び目標（13点）	(1) 基本的性格	多文化共生の理念を踏まえているか。	5
		(2) これまでの活動実績や成果等の継承	事業計画がこれまでの本事業の活動実績や成果等を十分踏まえており、事業の更なる発展が期待できるか。	5
		(3) 中長期的視点	委託期間のみならず、中長期的な展望を持った提案となっているか。	3
	2 事業運営体制（12点）	(1) 職員の配置	職員確保について具体的に明示するとともに、適正な配置が行われているか。また、業務管理責任者の知識・経験は十分か。 ※業務管理責任者が配置されていない場合は、他の項目の点数に関わらず失格とする。	4
		(2) 職員の業務分担	事業実施のため全体の組織体制及び従事者の役割分担の考え方が具体的かつ適切か。	4
		(3) 人材育成	知識・技術、資質の向上のための研修などが盛り込まれているか。	4
	3 事業計画（各項目）（40点）	(1) 関係団体等の増加と地域におけるハブ機能の強化	自主活動や関係機関等も含めた交流の場として、多目的コーナー及び会議室の利用提供等の在り方が示されているか。	10
			市民、関係団体等との連携を密にし、これらを相互に繋ぐことを目的とする取組や会議等の「地域のハブ」としての機能が示されているか。	
			在住外国人支援団体や在住外国人コミュニティとの連携を深め、利用者及び団体を増やす取組の在り方が示されているか。	
			活動に関心を持つ市民を関係団体等につなぐ（多文化共生に関する情報を提供するとともに、関係団体等の担当者との調整を含む。）取組の在り方が具体的に示されているか。	
			諸課題を有する市民や団体が、日常的なネットワークの中で、それらの課題を解決できるような仕組みづくりが示されているか。	
		(2) 地域交流・多文化交流を促進する事業の実施	地域交流・多文化交流を推進する各種取組が具体的に示されているか。	10
			ニューカマーへの積極的な情報発信及び参加促進の取組が具体的に示されているか。	
		(3) 情報提供及び広報活動等	本事業で行う取組や、関係団体等の活動内容等について、広く市民周知を図るため、SNSやホームページ、広報誌の発行、資料室の運営が具体的に示されているか。	6
	(4) 調査・研究、研修協力	調査研究等の内容及びその成果の反映方法が具体的かつ効果的か。 今後の多文化共生の担い手育成等を目的に実施する大学等への研修協力（フィールドワーク、講義、学生の受入等）が具体的に示されているか。	8	
(5) その他多文化共生に寄与する事業	他施設や関係団体等との連携が具体的に示されているか。	6		
	本市の多文化共生を推進するに当たり、独自の提案が示されているか。			
III 予算（5点）	1 予算（経費）（5点）		以下の数式により算出 ・5点×（全受託希望者中の最低提案価格）÷（受託希望者の提案価格） ※小数点以下は切捨て	5
IV その他（10点）	1 法令意識（6点）		守秘義務についての十分な理解や、個人情報保護について具体的な方策を明示しているか。また、事故防止に向けたマニュアル等を整備している（する予定がある）か。	6
	2 社会的責任の遂行（4点）		環境、健康への配慮、障がい者を理由とする差別の解消、男女共同参画などの、企業の様々な社会的責任に関する理解を示されているか。	4